

## 2024年12月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2024年11月5日  
東

上場会社名 JIG-SAW株式会社 上場取引所  
コード番号 3914 URL <https://www.jig-saw.com/>  
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 山川 真考  
問合せ先責任者 (役職名) 取締役 (氏名) 鈴木 博道 (TEL) 03-6262-5160  
配当支払開始予定日 —  
決算補足説明資料作成の有無 : 無  
決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

## 1. 2024年12月期第3四半期の連結業績(2024年1月1日~2024年9月30日)

## (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年12月期第3四半期	2,589	8.7	444	△4.6	496	2.6	360	13.9
2023年12月期第3四半期	2,383	6.0	466	8.8	484	15.7	316	10.2

(注) 包括利益 2024年12月期第3四半期 358百万円(△1.9%) 2023年12月期第3四半期 365百万円(0.4%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年12月期第3四半期	54.37	54.20
2023年12月期第3四半期	47.79	47.36

## (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2024年12月期第3四半期	4,616	2,988	62.5
2023年12月期	3,492	2,589	72.1

(参考) 自己資本 2024年12月期第3四半期 2,886百万円 2023年12月期 2,517百万円

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年12月期	—	0.00	—	0.00	0.00
2024年12月期	—	0.00	—	—	—
2024年12月期(予想)	—	—	—	—	—

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

## 3. 2024年12月期の連結業績予想(2024年1月1日~2024年12月31日)

当社のビジネスの堅調な推移により現時点で過去最高の売上高が見込まれる状況ですが、データコントロール事業及びグローバルIoTビジネスの事業拡大や事業投資に関する不確定な要素が多く、適正かつ合理的な業績予想の策定が困難であるため、業績予想を記載しておりません。

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更 : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
  - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
  - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
  - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）

2024年12月期3Q	6,751,000株	2023年12月期	6,751,000株
-------------	------------	-----------	------------

② 期末自己株式数

2024年12月期3Q	107,013株	2023年12月期	146,013株
-------------	----------	-----------	----------

③ 期中平均株式数（四半期累計）

2024年12月期3Q	6,637,554株	2023年12月期3Q	6,629,824株
-------------	------------	-------------	------------

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー : 無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	5
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	7
(継続企業の前提に関する注記) .....	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	7
(セグメント情報等) .....	7
(キャッシュ・フロー計算書に関する注記) .....	7

## 1. 経営成績等の概況

### (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結会計期間における当社グループを取り巻く事業環境は、デジタルテクノロジーの活用を進めるために、データ通信トラフィックの増加とそれに伴う消費電力の増加に対応すべく、電力消費を抑えつつ、リアルタイムかつ大容量のデータ送受信を可能とするBeyond 5Gの実現が求められています。また、AIを活用した多様なデジタルサービスが社会に浸透し、メタバース、ロボティクス、自動運転、生成AI等は様々な社会的・経済的課題解決に貢献することが期待されています（出典：総務省「令和6年版 情報通信白書」）。

このような環境のなかで、当社グループは、独自に保有する基盤コア技術をベースに、システムマネージ、クラウドマネージ、IoT、IIoT分野に加え、あらゆる物質や細胞にまでリーチするIoE (Everything)、そしてテクノロジーと人間の実質的な統合により、人間の五感を拡張させるIoA (Abilities) 分野における研究開発・ビジネスデザイン及び各種取り組みを、国内だけではなく、グローバルにおいても着実に進めております。

当社のクラウド・IoT分野全体を包括するデータコントロール事業の売上は、安定した完全ストック型ビジネス（サブスクリプションモデル及びリカーリングモデル）の継続課金売上と一時的なスポット売上で構成されております。当第3四半期連結会計期間においても、引き続き月額課金案件の受注獲得を推し進め、前年同期と比較して月額課金売上は165,900千円純増しました。これにより、上場以来39四半期連続で過去最高の月額課金売上のプラス成長となり、ウクライナや中東地域をめぐる国際情勢緊迫化に加え、世界的なインフレや中国経済の先行き不安、金融引き締め、大幅な為替変動などの影響を受けることなく、極めて堅調に推移しております。なお、中長期的な企業価値の向上と持続的な成長を実現するための人的資本経営の強化に注力し、先行投資は過去最高を超える金額となりました。

世界のIoT市場は2023年の1兆200億ドルから2028年には2兆600億ドルへ拡大すると予測（出典：グローバルインフォメーション「IoTの市場規模とシェア分析-成長動向と予測（2023年～2028年）」）されており、当社グローバルデータコントロールサービスの需要も高まる中、米国でリアルタイム位置情報サービス（RTLS）に関する革新的なソリューションを提供するLamplight Logistics社及び人工知能（AI）のリーディングカンパニーであるSECOMIND USA, LLC. と戦略的パートナーシップを締結しました。また、今後の大幅な事業拡大に向け、現在の大手町本社オフィスと丸の内オフィスの東京2拠点を1つに統合・集約し、従来のオフィス面積の2倍以上となる新オフィス「東京ミッドタウン八重洲 八重洲セントラルタワー」を東京本社として移転・統合します。これにより、当第3四半期連結会計期間において本社移転費用が発生しております。一方、各種クラウドを包括管理する「JIG-SAW PRIME」では、取引総額が898,347千円（前年同期比44.3%増）拡大しました。今後の高い事業成長を実現すべく、将来に向けた先行投資額は過去最高を更新し、前年同期と比較し約168,000千円増加となりました。なお、当第3四半期連結会計期間において、固定資産の加速度償却や二重家賃などの一時的な本社移転費用が50,641千円発生しております。

この結果、当第3四半期連結会計期間の経営成績は、売上高2,589,317千円（前年同期比8.7%増）、営業利益444,423千円（前年同期比4.6%減）、経常利益496,919千円（前年同期比2.6%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益360,908千円（前年同期比13.9%増）となりました。

なお、当社グループはデータコントロール事業の単一セグメントであるため、セグメント情報の記載を省略しております。

### (2) 財政状態に関する説明

#### (資産)

当第3四半期連結会計期間末における流動資産は、3,314,306千円（前連結会計年度末比701,782千円増）となりました。これは主に、現金及び預金が増加（前連結会計年度末比455,513千円増）、売掛金が増加（前連結会計年度末比128,875千円増）、その他に含まれる前払費用が増加（前連結会計年度末比116,173千円増）したことによるものであります。

また、固定資産は、1,302,074千円（前連結会計年度末比421,761千円増）となりました。これは主に、敷金及び保証金が増加（前連結会計年度末比267,978千円増）、繰延税金資産が増加（前連結会計年度末比74,856千円増）したことによるものであります。

以上の結果、当第3四半期連結会計期間末における総資産は、4,616,380千円となり、前連結会計年度末に比べ1,123,543千円増加いたしました。

## (負債)

当第3四半期連結会計期間末における流動負債は、1,226,320千円（前連結会計年度末比325,011千円増）となりました。これは主に、買掛金が増加（前連結会計年度末比125,062千円増）、その他に含まれる前受金が増加（前連結会計年度末比80,589千円増）、1年以内返済予定の長期借入金が増加（前連結会計年度末比54,996千円増）したことによるものであります。

また、固定負債は、401,217千円（前連結会計年度末比399,675千円増）となりました。これは主に、長期借入金が増加（前連結会計年度末比375,005千円増）したことによるものであります。

以上の結果、当第3四半期連結会計期間末における負債は、1,627,537千円となり、前連結会計年度末に比べ724,686千円増加いたしました。

## (純資産)

当第3四半期連結会計期間末における純資産は、2,988,842千円（前連結会計年度末比398,856千円増）となりました。これは主に、親会社株主に帰属する四半期純利益の計上等に伴い利益剰余金が増加（前連結会計年度末比193,155千円増）、自己株式が減少（前連結会計年度末比178,052千円減）したことによるものであります。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当社のビジネスの堅調な推移により現時点で過去最高の売上高が見込まれる状況ですが、データコントロール事業及びグローバルIoTビジネスの事業拡大や事業投資に関する不確定な要素が多く、適正かつ合理的な業績予想の策定が困難であるため、業績予想を記載しておりません。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2024年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	1,480,335	1,935,848
売掛金	1,012,868	1,141,743
その他	126,141	243,557
貸倒引当金	△6,820	△6,842
流動資産合計	2,612,524	3,314,306
固定資産		
有形固定資産	212,570	233,008
無形固定資産	36,624	42,639
投資その他の資産		
投資有価証券	139,206	193,777
敷金及び保証金	333,594	601,573
繰延税金資産	119,964	194,821
その他	54,944	37,123
貸倒引当金	△16,592	△870
投資その他の資産合計	631,118	1,026,426
固定資産合計	880,313	1,302,074
資産合計	3,492,837	4,616,380
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	543,381	668,444
1年内返済予定の長期借入金	45,000	99,996
未払法人税等	114,650	116,666
その他	198,276	341,214
流動負債合計	901,309	1,226,320
固定負債		
長期借入金	—	375,005
その他	1,542	26,212
固定負債合計	1,542	401,217
負債合計	902,851	1,627,537
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	351,107	351,107
資本剰余金	310,580	310,580
利益剰余金	2,435,249	2,628,405
自己株式	△666,395	△488,343
株主資本合計	2,430,542	2,801,750
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	21,677	22,089
為替換算調整勘定	65,591	62,562
その他の包括利益累計額合計	87,268	84,651
新株予約権	72,174	102,440
純資産合計	2,589,986	2,988,842
負債純資産合計	3,492,837	4,616,380

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自2023年1月1日 至2023年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自2024年1月1日 至2024年9月30日)
売上高	2,383,135	2,589,317
売上原価	726,270	773,582
売上総利益	1,656,865	1,815,735
販売費及び一般管理費	1,190,855	1,371,311
営業利益	466,009	444,423
営業外収益		
受取利息	73	187
受取配当金	4,313	5,452
受取手数料	19,692	40,338
投資有価証券売却益	—	3,235
助成金収入	—	2,857
その他	308	1,243
営業外収益合計	24,387	53,315
営業外費用		
支払利息	109	819
為替差損	5,885	—
その他	42	0
営業外費用合計	6,037	819
経常利益	484,359	496,919
税金等調整前四半期純利益	484,359	496,919
法人税、住民税及び事業税	165,584	201,276
法人税等調整額	1,927	△65,265
法人税等合計	167,511	136,010
四半期純利益	316,848	360,908
親会社株主に帰属する四半期純利益	316,848	360,908

四半期連結包括利益計算書  
第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2023年1月1日 至 2023年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2024年1月1日 至 2024年9月30日)
四半期純利益	316,848	360,908
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	11,295	411
為替換算調整勘定	37,168	△3,029
その他の包括利益合計	48,463	△2,617
四半期包括利益	365,312	358,291
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	365,312	358,291
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

## (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当第3四半期連結会計期間において、ストック・オプションの行使により、利益剰余金が167,753千円及び自己株式が178,052千円減少しております。

この結果、当第3四半期連結会計期間末において、利益剰余金が2,628,405千円、自己株式が488,343千円となっております。

(セグメント情報等)

当社グループは、データコントロール事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第3四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第3四半期連結累計期間に係る減価償却費（無形固定資産に係る償却費を含む。）は、次のとおりであります。

	前第3四半期連結累計期間 (自 2023年1月1日 至 2023年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2024年1月1日 至 2024年9月30日)
減価償却費	43,040千円	39,649千円